

指標：景観の保全・形成を目的とした独自条例制定状況（景観の保全・形成への取組動向）

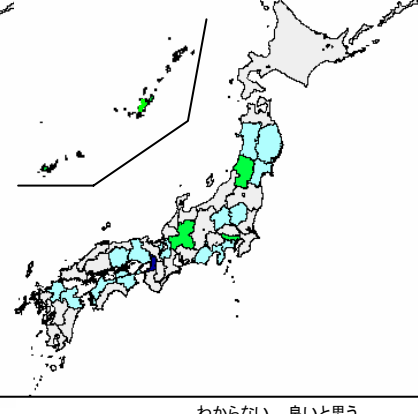
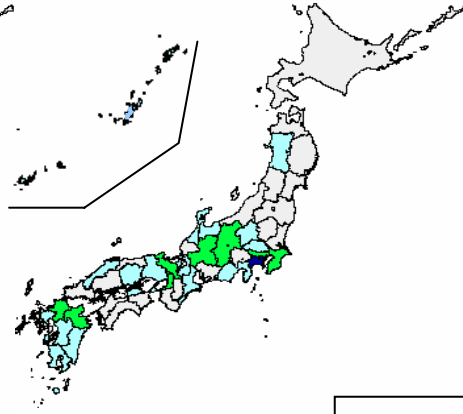
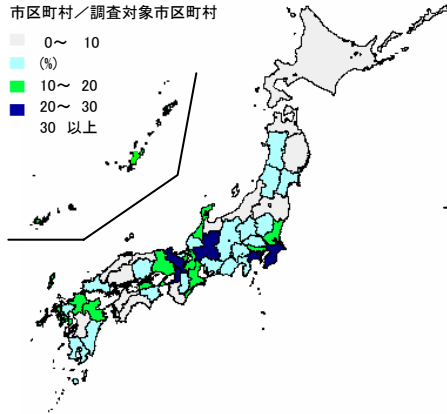
日本の街なみや景観に関する世論調査によると「良い」「どちらかといえば良い」が33%であり、「良くない」「どちらかといえば良くない」が40%と上回っている。しかし「景観の保全・形成」を目的とした独自条例を制定している市区町村の割合は、住環境や、自然環境の保全を目的にしたものより、未だ低い水準に止まっている。

**住環境の保全等** を目的とした条例を制定する市区町村割合

**自然環境の保全等** を目的とした条例を制定する市区町村割合

**景観の保全・形成** を目的とした条例を制定する市区町村割合

該当内容の条例を制定している市区町村／調査対象市区町村



(注) 1. 調査は、2000年1月～3月に全国の政令指定都市を除く3,240市区町村を対象に条例の制定状況、目的等についてアンケート形式による調査を行ったもの(回収できた市区町村は1,962(回収率60.6%))。

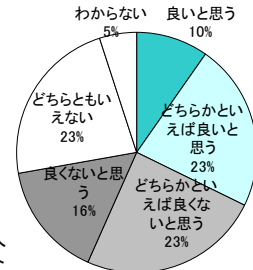
2. 各条例割合は独自条例のみによる。

独自条例：自治体が地方自治法(条例制定権)を根拠として制定している条例。

※参考)委任条例：都市計画法や建築基準法等の個別法に位置づけられた条例。

(出典)まちづくり条例研究センターHP(<http://www.machiken.gr.jp/>)、内閣府「住宅に関する世論調査」(H16)より国土交通省国土計画作成。

日本の街なみや景観に関する評価(2004年)



(注) 全国20歳以上の者2,048人を対象に行ったアンケート